

# 平成 28 年度 第 1 回 五泉市地域公共交通活性化協議会

日時 平成 28 年 6 月 27 日(月)

14 時 00 分～

場所 五泉市福祉会館 3 階 大会議室

## 議 事 次 第

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 事

- (1) 平成 27 年度 ふれあいバス事業報告について
- (2) 平成 27 年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告について
- (3) 平成 27 年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告について
- (4) 平成 29 年度 生活交通確保維持改善計画(案)について  
(地域内フィーダー系統確保維持計画(さくら号))

### 4 その他

- (1) ふれあいバス・さくら号に係る要望事項について

### 5 閉 会

#### 【配布資料】

◇議事次第   ◇委員名簿   当日配付   ◇配席図   当日配付

#### 【議事資料】

資料 1.	ふれあいバス・ごせん乗合タクシー「さくら号」利用の推移	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 2.	平成 27 年度 ふれあいバス事業報告について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 3.	平成 27 年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 4.	平成 27 年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 5.	平成 29 年度 生活交通確保維持改善計画(案)について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)
資料 6.	ふれあいバス・さくら号に係る要望事項について	<input type="checkbox"/> 事前配布(同封)

平成 28 年度 第 1 回 五泉市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

【 敬称略 】

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
1	五泉市	市長	いとう かつみ 伊藤 勝美	会長
2	新潟交通観光バス株式会社	代表取締役社長	こだ さとし 古田 哲	新任
3	蒲原鉄道株式会社	代表取締役	しげの かずひろ 茂野 一弘	
4	東日本旅客鉄道株式会社 新潟支社総務部企画室	室長	まえかわ さちこ 前川 幸子	欠席
5	泉観光バス株式会社	代表取締役	せきづか まさゆき 関塚 政行	
6	公益社団法人 新潟県バス協会	専務理事	たかはし せいきち 高橋 清吉	欠席
7	みどりハイヤー株式会社	運行管理部長	かねこ あきら 金子 了	
8	新潟県新潟地域振興局 新津地域整備部	部長	たなはし げん 棚橋 元	うえむら のぼる 代理出席: 植村 昇
9	五泉市都市整備課	課長	つかの かずや 塚野 一也	いまい けいや 代理出席: 今井 敬也
10	新潟県五泉警察署	署長	すずき みつし 鈴木 光司	新任
11	五泉市老人クラブ連合会	副会長	わたなべ しょういち 渡辺 庄一	新任
12	五泉市小中学校 PTA 連絡協議会	巢本小 PTA 会長	いたがき けいたろう 板垣 圭太郎	新任 欠席
13	長岡技術科学大学	教授	さの かずし 佐野 可寸志	副会長 欠席
14	国土交通省北陸信越運輸局 交通政策部交通企画課	課長	たかはし ともひこ 高橋 智彦	新任 たちなみ ひろき 代理出席: 立浪 弘貴

No.	所 属	役 職	氏 名	備 考
15	国土交通省北陸信越運輸局 新潟運輸支局	首席運輸企画専門官	こまつ みほこ 小松 美保子	新任 欠席
16	新潟県新潟地域振興局 企画振興部	部長	いいひら よしふみ 飯平 喜文	
17	新潟市秋葉区地域課	課長	ながさき しのぶ 長崎 忍	欠席
18	加茂市福祉事務所	所長	あおやぎ よしき 青柳 芳樹	
19	阿賀野市総務課	課長	こばやし まさお 小林 正男	代理出席: 関 隆男 せき たかお
20	五泉商工会議所	専務理事	おやなぎ たかし 小柳 隆	監査員
21	村松商工会	事務局長	よこやま よしなり 横山 芳成	監査員
22	五泉市商工観光課	課長	かわむら まさみ 川村 正美	新任
23	五泉市社会福祉協議会	会長	ひうら みつお 樋浦 三男	
24	五泉市健康福祉課	課長	みながわ ひでお 皆川 秀男	新任
25	日本労働組合総連合会 新潟県連合会 下越地域協議会五泉支部	運営委員	さとう よしのり 佐藤 良徳	欠席
26	五泉市高齢福祉課	課長	くまくら ひろし 熊倉 央	新任
27	五泉市教育委員会 学校教育課	課長	すぎやま しんじ 杉山 信二	

【事務局】 五泉市企画政策課

■議事録

開会 14:00	
司会 (林補佐)	<p>本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。定刻になりましたので、平成28年度第1回五泉市地域公共交通活性化協議会を開会させていただきます。お手元の次第に沿って進めさせていただきます。</p> <p>最初に会長であります伊藤市長からご挨拶を申し上げます。</p>
伊藤会長	<p>本日はご多用の中、ご出席をいただきまして大変ありがとうございます。また日頃は、五泉市政運営につきまして、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。</p> <p>さて、平成22年10月のふれあいバスと乗合タクシー「さくら号」の運行開始以来、委員の皆様には多大なるご支援、ご協力をいただいております、重ねて感謝申し上げます。</p> <p>おかげさまをもちまして、地域に密着した移動手段として定着してまいりましたし、市民にとって大切な公共交通として順調に推移しているところでございます。</p> <p>本日は、平成27年度のふれあいバスとさくら号の事業報告と、地域公共交通活性化協議会の決算報告、平成29年度の生活交通確保維持改善計画についてが、主な議題となっております。それぞれの分野からお越しいただいている委員の皆様方から、幅広い視点で忌憚のないご意見、ご指導賜りますことをお願い申し上げます。本日はよろしく願いいたします。</p>
司会 (林補佐)	<p>次に、委員の変更がございましたので、ここでご紹介させていただきます。</p> <p>名簿順に、2番・古田委員、10番・鈴木委員、11番・渡辺委員、12番・板垣委員(欠席)、14番・高橋委員(代理)、15番・小松委員(欠席)、22番・川村委員、24番・皆川委員、26番・熊倉委員、以上9名の方が変更となりました。</p> <p>それでは、新しく委員とられました皆様から、一言自己紹介をお願いしたいと思います。2番の古田委員から一人ずつお願いいたします。</p> <p><b>自己紹介</b></p> <p>続きまして事務局の自己紹介をさせていただきます。</p> <p><b>事務局自己紹介</b></p> <p>それでは、これより議事に入りますけれども、進行を伊藤会長からお願いしたいと思います。</p>
伊藤会長	<p>はい、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。議事に入る前に、本協議会規約第12条第2項の規定により「会議の成立は委員の過半数」となっておりますので、委員の出席数を事務局から報告してください。</p>
事務局 (高橋主事)	<p>はい、委員の出席数についてご報告をさせていただきます。</p> <p>委員27名中、ただいまの出席は19名です。よろしく願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>今ほど、事務局から27名中19名の出席との報告がございましたので、この会議は成立しております。それでは議事に入ります。</p> <p>「(1)平成27年度ふれあいバス事業報告について」、「(2)平成27年度ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告について」事務局の説明を求めます。</p>

事務局  
(堀内主査)

はい、説明に入る前に、本日の資料の確認をさせていただきます。

**資料の確認**

最初に、ふれあいバスとさくら号の概略について若干触れたいと思います。五泉市公共交通時刻表の6ページをご覧ください。左上に5. 運行路線図と記載されております。

ふれあいバスは五泉と村松の市街地を結ぶ幹線のバス路線で、12月31日から1月3日までを除く毎日、平日は28便、土日祝日は21便を運行しております。なお運行は五泉市乗合バス協議会様に委託をしております。運賃につきましては5ページを、時刻表につきましては7ページ以降をご覧ください。

続きまして、乗合タクシー「さくら号」でございます。時刻表の1ページをご覧ください。さくら号は、主にA. 五泉東エリア、B. 五泉西エリア、C. 村松エリアの基本3エリア内で運行する乗合タクシーであります。お盆と年末年始および日・祝日を除く月曜から土曜まで、1日22便の運行を行っております。なお、五泉市ハイタク協議会様へ委託を行っており、平日は7台、土曜日は4台の車両が運行を行っております。運賃等につきましては3ページをご覧くださいいただければと思います。

**資料1**をご覧ください。ふれあいバス、ごせん乗合タクシー「さくら号」の利用推移となっております。上段の青色の部分がふれあいバス、下段のピンク色の部分が乗合タクシー「さくら号」の年度別利用推移となっております。

年間利用者数、年間運賃収入とも、運行開始より平成26年度までは数値が伸びておりましたが、平成27年度は利用者においてはいずれも減少に転じ、ふれあいバスの平成27年度年間利用者数が121,616人、前年比99.5%、さくら号の年間利用者が49,435人、前年比94.6%となりました。年間運賃収入は、ふれあいバスで17,461,557円、前年比100.6%とちょうど前年度と同水準であったものの、さくら号は14,680,155円、前年比96.6%と減少いたしました。平成22年10月にふれあいバス、さくら号の運行を開始してから、5年8か月が経過したところでございますが、これまで利用者、運賃収入ともに増加する推移をたどってきたものが、平成27年度より初めて減少傾向に転じております。主に減少の原因等の考察を含め、ふれあいバス、さくら号、それぞれの事業詳細につきましては、次ページ以降で触れてまいりたいと思います。

(1)平成27年度 ふれあいバス事業報告について

**資料2**をご覧ください。まず、上段の1. 乗車人数の推移といたしまして、平成27年4月から28年3月まで月別に運行日数、運行便数、乗車人数、1日平均乗車人数、前年同月比が記載されております。一番右の前年同月比をご覧くださいますと、概ね4月以降、前年度比が100%を超える月が多いものの、主に12月と5月の落ち込みが目立ちます。その状況の詳細を示しておりますのが、次の3ページの3. 月別利用者数および左下の折れ線グラフです。折れ線グラフのうち、黄緑色の線が平成26年度を、赤色の線が27年度をそれぞれ示しており、5

月と12月の差が確認できます。こちら要因としまして、曜日の日数の差および天候が大きな理由として考えられます。

今回、資料には付けておりませんが、5月につきましては、平成26年度との比較で平日と土・休日の日数差が2日ありました。平日は土日祝日の約4倍、人数にして一日当たり約300人の差があります。平日と土日祝日の日数差が原因となり、利用者数に差が表れたことが、3ページの3. 月別利用者数の5月のところ、土日祝日の欄を見ると確認ができます。平成26年度との比較で、5月全体の利用者数は減少していますが、土日祝日の利用者数は増加しております。

次に、平成27年度12月につきましては26年度と異なり、年明けの1月下旬まではほとんど積雪がありませんでした。ふれあいバスは、その日の天候により利用者数に差が見られ、平日の晴れの日と比較すると、雨の日は約40人、雪の日は約50人程度利用者が多くなる傾向があります。平成26年12月は、平成27年12月と比べて平日の雨の日は4日、雪の日は2日多くありました。その点が要因の大きな部分を占めていると思われまます。

続きまして、2ページの2. 運賃収入の推移をご覧ください。左側から運賃収入(現金)、乗り放題券、回数券、運賃収入計、前年同月比が記載されております。収入の内訳につきましては、右下の円グラフをご覧ください。右側の青い部分が現金での乗車で約半分の47.6%、赤い部分が乗り放題券の41.3%、緑色が回数券11.1%となっております。平成26年度と比較いたしますと、全体の収入における乗り放題券の割合および収入が伸びており、普段より利用されている方が制度を理解し、より有利な購入方法を選択されていることがうかがえます。左表の棒グラフには、乗車人数の推移といたしまして、縦軸が乗車人数、横軸が月別となっております。緑色が平日、赤色が土日祝日の乗車人数となっております。表記にはございませんが、利用の多いバス停は、五泉駅、村松駅、五泉高校前、村松高校に近い学校町一丁目の利用者が多く、主に通勤通学で利用されている方が多くいらっしゃいます。

## (2)平成27年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告について

4ページの資料3をご覧ください。1. 乗車人数の推移といたしまして、月別に運行日数、実運行便数、稼働率、乗車人数、1日平均乗車人数、前年同月比が記載されております。一番右の前年同月比をご覧くださいと、4月を除き、軒並み前年度比が100%を割っております。その状況の詳細を示しておりますのが、5ページの3. 月別利用者数の欄および左下の折れ線グラフです。折れ線グラフのうち、黄緑色の線が平成26年度を、赤色の線が27年度をそれぞれ示しており、26年度を概ね下回っていることが確認できます。また、12月の差につきましても、先程のふれあいバスと同様に、やはり天候の違いが影響しているものと想定されます。さくら号の利用についても、晴れの日よりも、雨・雪の日の利用のほう若干ではありますが、多くなる傾向が見られます。

	<p>続きまして、6ページをご覧ください。こちらは、さくら号の利用者を、年代別にあらわした表となっております。折れ線グラフと同様、色別に平成26年度、27年度を表しております。年代ごとにそれぞれ差が出ておりますが、ご注目頂きたいのが、小学生の欄となります。2,363人から703人と、1,600人ほど大きく落ち込んでおります。こちらは学童クラブへ通うための利用がなくなったことが大きな理由となっております。平成27年4月より、十全小学校が閉校となり、それまで十全小学校から学童クラブへ移動するためさくら号を利用していた方が利用しなくなった、大蒲原小学校についても、平成26年度まで利用されていた方が27年度以降いなくなった、それらが利用者減少の要因であると考えられます。</p> <p>他にも、頻繁に利用されていた高齢者、また施設等に通うため利用していた方が施設を変えた、もしくは体調等の理由により利用しなくなった、またスーパーの改装等により高齢者の利用が減少した等、様々な要因が想定されますが、先程申し上げました小学生の利用減が、通年での利用者減少となっている最も大きい要因であると想定されます。</p> <p>続きまして、4ページの2. 運賃収入の推移をご覧ください。左側から、運賃収入(現金)、回数券、高齢者助成券、福祉タクシー券、運賃収入計、前年同月比が記載されております。こちらにも利用者数と同様に、前年度実績を下回っております。収入の内訳につきましては、右下の円グラフをご覧ください。右側の青い部分が現金での乗車で約半分の47.1%、赤い部分が回数券で46.9%、緑色が高齢者助成券1.4%、最後に福祉タクシー券4.6%となっております。近年の傾向としまして、全体の収入における回数券の割合が伸びており、普段より利用されている方が制度を理解し、より有利な購入方法を選択されていることがうかがえます。</p> <p>以上、ふれあいバス、さくら号ともに、平成27年度の利用者減少傾向について、要因を考察しながらふれてまいりましたが、大きな流れとして、運行開始から続いてきた増加傾向が縮小し、ふれあいバス、さくら号ともに、利用者数が頭打ちとなってきている状況が感じられます。制度内容や利用方法など、これまでの活動により浸透が図られた結果であるとも思われますが、頭打ちになってきつつある、そういった大きな流れや状況をふまえて、今後、これまで以上に周知の方法や狙いとする時間帯や対象者に対するアプローチに工夫を凝らし、各種活動を図っていく必要があると考えます。</p> <p>また、今までに引き続き、利用者の立場に立った運行を心掛け、繰り返し利用してもらえような公共交通を目指してまいりたいと考えております。</p> <p>議事の「(1)平成27年度 ふれあいバス事業報告について」、「(2)平成27年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告について」の説明は以上となります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>(1)平成27年度 ふれあいバス事業報告について</p> <p>(2)平成27年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告について</p>

	<p>ご質問等ございませんでしょうか。</p> <p><b>質疑なし</b></p> <p>それでは、承認いただける方は拍手をお願いします。</p> <p><b>拍手</b></p> <p>ありがとうございました。議事の「(1)平成27年度 ふれあいバス事業報告」、 「(2)平成27年度 ごせん乗合タクシー「さくら号」事業報告」は承認されました。 それでは、次に、「(3)平成27年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告について」事務局の説明を求めます。</p>
<p>事務局 (塚野補佐)</p>	<p>それでは、ご説明いたします。</p> <p>(3)平成27年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告について</p> <p>7ページ<b>資料4</b>をご覧ください。まず歳入ですが、1款負担金46,961,000円ということで、料金収入で賄えない部分を五泉市より負担していただいております。次に2款繰越金ですが、平成26年度からの繰越金ということで、2,756,356円という決算になりました。また3款諸収入につきましては、49,189,680円ということで、内訳としましてはふれあいバス運賃が17,442,117円、さくら号運賃14,665,683円、国県補助金返還金17,078,948円、こちらは国、県から補助金をいただいておりますが、五泉市地域公共交通活性化協議会には直接入らずに、バス事業者様、タクシー事業者様に振り込まれるという制度になっており、それを返還金という形で納めていただいた分となっております。予算ベースの比較では、ふれあいバスの運賃が予算でみたときよりも700,000円ほど多くなっておりました。返還金につきましては520,000円ほど少なかったのですが、差し引きしまして予算対比では186,680円の増となっております。また前年比較で申し上げますと、ふれあいバスにつきましては、前年より110,000円ほど収入が伸びております。さくら号の運賃は510,000円の減となっております。歳入の合計は98,907,036円となりました。</p> <p>続きまして歳出をご覧ください。1款運営費1項会議費ですが、決算額41,780円でございます。2項事務費は、決算額133,294円です。3月頃にさくら号の予約方法の周知ということで、全戸配布のチラシをいれさせていただきましたが、その用紙代ということで58,000円ほどかかりまして、これが当初予定していなかった支出ということになっております。次に2款事業費ですが、全体で96,213,360円です。内訳は、ふれあいバスの委託料ということで、乗合バス協議会様に運行を委託しておりますが、42,254,006円ということで、前年度比較をしますと1,430,000円ほどの増となっております。人件費、賃金単価が上がっているということで、そのあたりで前年度よりは多くなっておりました。また、バスの車両修繕520,000円ほど支出をしております。次にさくら号ですが、タクシーの運行委託料ということで、ハイタク協議会様に委託をしております。決算額41,258,492円ということですが、こちらも前年度より人件費が上がっておりましたが、逆に減価償却が必要な車両が減ったということで、前年度比較です</p>



	<p>と530,000円ほどの増ということになっております。また、運行管理委託料で、こちらは社会福祉協議会様に受付センターの運営を委託しておりますが、7,450,238円という決算額になりました。賃金単価は、市役所に合わせた賃金単価を使っていたいておりますが、10円単価が上がったということで、支出額は前年と比べますと、390,000円ほどの増となっております。つぎにシステムおよび機器使用料1,886,496円ですが、こちらは27年度からの新規の支出となっております。昨年8月に、受付システムの更新をさせていただきました。平成22年に運行を開始した時は、受付システム、パソコンを含め全て買い取りで運行をしていました。それが5年たちまして、バージョンアップが必要だということで8月にシステムの更新をいたしました。今後は60か月のリースということで契約をさせていただきました。その関係でシステムですとか、機器の使用料が新たに発生するということになっております。システム保守等委託料は1,036,800円、その他通信費805,390円等の支出をしております。また、利用促進事業ということで、例年時刻表を作っております。800,000円ほどの決算となっておりますが、通常の時刻表のほかに、点字の時刻表も作成いたしました。目の不自由な方にも利用していただきたいということで、15部ほど作りましたが、その経費88,750円が決算額816,670円の中に含まれております。以上、歳出の合計は96,388,434円となり、収入と支出を差し引きした2,518,602円が、次年度への繰越しとなっております。以上でございます。</p>
伊藤会長	<p>はい、皆様のご質疑をいただく前に、本協議会規約第10条第2項の規定によりまして、会計監査報告を小柳監査員から報告願います。</p>
小柳監査員	<p>平成27年度五泉市地域公共交通活性化協議会の会計に関する監査を、本年6月3日に五泉市役所本庁3階応接室で横山委員とともに行いました。関係する諸帳簿を精査いたしましたところ適正に処理されており、記帳、計算ともに相違なかったことをご報告いたします。以上です。</p>
伊藤会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは「(3)平成27年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告について」、質疑等ございませんか。</p> <p><b>質疑なし</b></p> <p>それでは、承認いただける方は拍手をお願いします。</p> <p><b>拍手</b></p> <p>ありがとうございました。「(3)平成27年度 五泉市地域公共交通活性化協議会決算報告」は承認されました。続きまして、「(4)平成29年度 生活交通確保維持改善計画(案)について」事務局の説明を求めます。</p>
事務局 (堀内主査)	<p>それでは、ご説明いたします。</p> <p>(4)平成29年度 生活交通確保維持改善計画(案)について</p> <p>まずは9ページの<b>資料5</b>をご覧ください。乗合タクシー「さくら号」の運行にあたっては、国の補助制度である「地域公共交通確保維持改善事業」により助成を</p>

受けておりますが、助成を受けるため必要となる「生活交通確保維持改善計画」を、例年この五泉市地域公共交通活性化協議会において、ご審議いただいております。乗合タクシー「さくら号」については、路線バスなどの地域と地域を結ぶ「幹線系統」の路線に接続する「地域内フィーダー系統」といたしまして、計画の認定申請を行うものです。ここでいう「フィーダー」とは、「幹線系統につながる支線」という意味です。樹木でたとえるなら幹の部分が幹線系統、五泉市であれば五泉と村松の市街地を結ぶ、ふれあいバスが幹の部分にあたり、そこから延びる枝葉の部分がフィーダー系統、つまりさくら号となります。

本日、皆様からご審議いただく乗合タクシー「さくら号」の計画は、平成29年度計画となっておりますが、計画期間は平成28年10月から31年9月末までの向こう3か年の計画となっております。

9ページの1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性ですが、現在の五泉市の公共交通の現状について記述しております。地域公共交通確保維持事業により、ごせん乗合タクシー「さくら号」(デマンド乗合タクシー)運行を引き続き確保・維持することで、市民の方々の生活交通手段を存続させていくことが必要である、という内容になっております。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果であります。こちらは事業の目標達成の指標を示しております。それぞれの系統の輸送人員について、前年比100%以上を維持することを事業の目標としております。事業の効果として、ドアtoドアによる運行で交通空白地域を解消し、移動の利便性向上により、地域の活性化が期待できるという内容になっております。

続きまして10ページ、3. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者ということですが、ここを説明するにあたり差し替え資料をご覧くださいと思います。13～15ページの差し替え資料、平成29年度、30年度、31年度と3か年度分の3枚がございます。その中の表の左側、運行予定者名の欄をご覧くださいますと、いずれも現在さくら号の運行を委託しております五泉市ハイタク協議会に加盟している3社が、29年度からの3か年引き続き運行を行うという内容になっており、10ページの3にはその選定理由が記載されております。ここで表の中ほどにあります「確保維持事業に要する国庫補助額」とは、さくら号運行にあたる予測費用から予測収益を差し引いた額、いわゆる事業実施にあたる経常損益、赤字部分ですが、これに補助率の1/2をかけたものであります。こちらが補助対象経費となり、3つの系統ごとに表記されております。

続きまして、その右隣にあります「国庫補助金内定申請額」ですが、右下に記載されている国庫補助上限額、7,229,000円と記載がありますが、こちらを3つのエリアの運行の費用割合で按分し算出したものです。なお、こちらは数字が2つになっておりますが、上の6,003,000円につきましては運行予定者が同一のため、合算の表記となっております。先ほど確保維持事業に要する国庫補

	<p>助額が補助対象経費であるという話を申し上げましたが、いずれもこの国庫補助上限額を合算で上回っているため、事実上、この国庫補助の上限額である7,229,000円が国への補助金内定申請額の合計額となります。なお、国庫補助上限額は、国勢調査時の人口等を基に、国が示す算定式により算出しております。ご覧いただきました差し替えの13ページから15ページまで、平成29年度から31年度は、年度あたりの計画運行日数がいずれも292日と同日数であるため、3か年度全て同様の金額を表記しております。</p> <p>ここで差し替えさせていただきました資料について当初のものとの変更点にふれてまいります。表中にあります泉観光バス様とみどりハイヤー様という同じ事業者が運行する系統の(1)と(3)、こちらを上下に来るように表の記載方法を変更したという点、また「確保維持事業に要する国庫補助額の数値」を積算するにあたり、単価の修正を行いまして、記載の金額が変更になったという点、以上二点が元々の資料からの変更点となります。いずれの変更も補助金内定申請の金額に直接影響のある点ではございませんが、修正ということで、改めて差し替えのほどよろしく願いいたします。</p> <p>続きまして、17ページをご覧ください。A3カラーの折りたたみであるページになります。こちらはさくら号の運行エリア図となっております。枝葉であるさくら号が幹の部分の幹線系統にどのように接続しているかを確認するため、国にも毎年提出している書類であります。昨年度までと大きく変わらないものの、一点修正点がございます。昨年度までは新潟交通観光バス様が運行いたします大関線という路線がこちらの図に記載されており、そのバス路線にさくら号が接続する描きとなっておりますが、今回は大関線自体の補助金内定申請に若干問題があるため、さくら号をふれあいバスに接続するよう描きを修正いたしております。</p> <p>計画の内容については以上となります。繰り返しとなりますが、平成29年度以降の3か年も、現在運行している事業者に引き続き運行委託を行い、市民の生活交通の足として、対象となる補助金申請を行いながらさくら号の運行を行っていく、という内容となっております。ご審議のほどよろしく願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>ただいまの「(4)平成29年度 生活交通確保維持改善計画(案)について」、質疑はございませんか。</p> <p><b>質疑なし</b></p> <p>それでは、「(4)平成29年度 生活交通確保維持改善計画(案)について」、承認いただける方は、拍手をお願いいたします。</p> <p><b>拍手</b></p> <p>ありがとうございました。「(4)平成29年度 生活交通確保維持改善計画(案)」は承認されました。(案)を削除願います。それでは次に、「4 その他 (1)ふれあいバス・さくら号に係る要望事項の検討について」、事務局の説明を求めます。</p>
事務局 (塚野補佐)	<p>18ページ資料6をご覧ください。平成22年10月から、ふれあいバスとさくら号の運行を開始しまして、地域に密着した公共交通として市民の皆様のご理解が</p>

広がり、平成26年度までは利用者が毎年順調に伸びてきておりました。しかし、今ほど見ていただいた通り、6年目を迎えて利用者が減少傾向となってきております。また、様々な問題、要望等もいただいており、それらについて検討する必要がある時期に来ているのではないかという認識を、こちら事務局のほうとしても持っております。利用者である市民の方々をはじめ、市議会におきましてもご意見、ご要望をいただいており、前回3月14日の協議会で、そういった内容を整理し、協議会の皆様とご相談をしながら検討をしていきたいというお話をさせていただきました。これを受けまして、今回の資料6で今まで出てきた要望等を箇条書きですが簡単にまとめましたので、説明させていただきます。

まず【ふれあいバスに関する点】ということで「運行日、運行時間帯、路線エリアの拡大について」というようなお話をいただいております。運行日に関しましては、12月31日から1月3日までが年末年始のお休みとなっておりますが、この期間、土・休日ダイヤでもいいから運行してほしい、また運行時間帯については、現在の最終便は20:12発となっておりますが、もっと遅い便があったらいいというようなお話をいただいております。路線エリアの拡大に関しては、現在市街地の中心部を走るような形ですけれども、村部のほうまで拡大してほしいという内容のお話も頂戴しております。「JRとの円滑な乗り継ぎについて」はJRとの接続の要望ということになります。また、「五泉・村松間の直行便について」は、市街地を走らずに五泉駅⇄村松間を直接結ぶような運行形態があってもいいのではないかといいようなお話をいただいております。また「朝の通学時間帯におけるダイヤ変更について」、「乗り残しの防止と、大型車両の導入について」ということでは、村松高校様から、今年度要望書をいただいております。4月に新生が入ってきまして、乗り放題券の売り上げ等は少し伸びたのですが、生徒さんの中でバス通学される方が例年よりも多くいらっしゃるようで、4月初めにバスに乗れなかったという事例が発生しております。そのあたりを含めまして、村松高校様から、朝の時間帯8時台の便ですけれども、増便してほしいという要望ですとか、できればバスを大型化してほしいということで、現在うちのほうで3台バスを保有しております、小型が2台、中型が1台ですが、これの大型化を図っていただけないかというようにお話を頂戴したところであります。次に「高校生の冬期間利用の増加時における対策について」ということで、夏場や天気のいい日には自転車等で通学している方が、冬場になるとバスを利用するというように、利用者が増えますので、その辺りの対策を何とかしてほしいというお話です。

また「運行の遅れの改善について」、バスですとどうしても時刻表、ダイヤ通りには運行できない面がありますが、その辺りに関するご要望もいただいております。それから「停留所への風雨よけ施設の設置について」、それから「南部郷総合病院への乗り入れについて」、また「ドライバーの対応やマナーについて」というようなお話もいただいております。

次に【さくら号に関する点】ということで、「エリア制限廃止(エリアをまたぐ運行

の実現)」についてということで、特に五泉⇄村松間を行き来できるようにしてもらえないかというお話を多くいただいております。それから「共通エリアを拡大してほしい」、また先程のエリア廃止にも関連しますが、医療機関ということで、たとえば五泉地区の方が村松の南部郷総合病院へ行くとき等、医療機関、福祉機関に限ってエリアをまたいだ運行ができないかというようなお話をいただいております。それから運行日、時間帯に関しては、現在、日曜日と祝日がお休みなので、その辺りも運行してほしいということと、時間帯については、最終便が19:00到着となっておりますけれども、それ以降の時間も拡大してほしいと、そういったお話をいただいております。「ドライバーの対応やマナーについて」、「予約センターでの対応やマナーについて」等のお話をいただいております。【その他共通事項など】というところでは、通常の利用料金減額についてということで、さくら号は、学生さんでも現在300円をいただいておりますが、学生割があったらいいのかなとか、さくら号からふれあいバスに乗り継いだ場合の割引があったらいいなというようなご意見も頂戴しております。

これらのなかで、ドライバーへの苦情等こちらですぐに対応できるようなものについてはその都度改善し、利用者の利便性向上を図ってきているところでもあります。またJRのダイヤ改正に合わせて乗り継ぎがしやすいように時刻表の見直しも行っておりますが、先程申しましたようにバスが3台しかございませんので、なかなか全部の電車に接続するようなダイヤを組めていないというような状況にあります。また、停留所の整備ということに関しましては、平成25年度から26年度にかけて、五泉市郷屋川のキューピット前にバス停を整備いたしましたし、南部郷厚生病院前にもバス停の設置を行っております。また、南部郷総合病院への乗り入れに関しましては、運行開始当初は病院前まで入っていない便もあったのですが、現在は病院の利用者が見込まれる時間帯につきましては全ての便が病院前まで乗り入れるというように改善しております。また、村松高校様から要望があった件につきましては、こちらでも問題を把握しまして、なんとか出来ないかということで、4月20日に乗合バス協議会の皆様にお集りいただいて、対応策の検討を行っております。中型、小型を入れ換えて、少しでも乗り残しがないように出来ないかとか、ダイヤの組み換え等を検討いたしましたが、すぐに対応できるような案は出てこなかったのですけれども、例年ですと、ゴールデンウィーク明けに利用状況が落ち着いてくるような面もありますので、しばらく様子を見てというような対応を取らせていただいております。また冬場にかけて利用が増えるということが予想されますので、そのあたりまた乗合バス協議会様のほうと検討をしていきたいと思っております。以上、対応したのものもありますが、いろいろと未解決の問題もありまして、これらの要望につきまして、委員の皆様からご意見をお聞きしたいということで出させていただきます。皆様が普段、ふれあいバス、さくら号の利便性向上についてお考えになっていることがございましたら、この場でぜひお聞かせ願いたいと思っております。よろしく願いいたします

	す。
伊藤会長	<p>ただいまの「4 その他 (1)ふれあいバス・さくら号に係る要望事項の検討について」、皆様から要望等お受けしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p><b>質疑なし</b></p>
伊藤会長	村松高校の件ですが、便数を増やしてくれという要望もあるのですか。
事務局 (塚野補佐)	朝の時間帯の便を増やして欲しいと要望がありました。
伊藤会長	帰りの便はどうですか。
事務局 (塚野補佐)	部活等の関係で分散しているようですので、帰りの便については特にお話はありませんでした。
伊藤会長	<p>そうですね。皆様のほうで何かご意見ございませんか。</p> <p><b>質疑なし</b></p> <p>全て解決できればいいのしょうけども、順次解決を図っていくということでもよろしいですか。</p> <p>要望事項がございますので、よく検討させていただきたいと思います。</p> <p>それでは、その他に何かございますか。</p>
事務局 (塚野補佐)	<p>五泉市地域公共交通活性化協議会の今後の予定ですが、一年のうちに2回開催しておりまして、次回は来年の3月くらいになるかと思いますが、新年度の事業計画ですとか、実績の報告ということで、予定させていただきたいと思います。時期等決まりましたら、またご案内をさせていただきたいと思います。</p> <p>もう一点ですが、今日机上配布させていただきました、新潟地域振興局様が移転されるというお知らせですけれども、新潟地域振興局の飯平部長様がお出でになっておりますので、説明をしていただきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>
新潟地域振興局 飯平委員	<p>お手元に黄緑色のチラシを配布させていただきました。「新潟地域振興局本局庁舎等が移転します」というものでございます。詳しいことはチラシをご覧くださいと存じますけれども、この度、わたくしどもの新潟市中央区川岸町にございます本局庁舎が移転することとなりました。局長以下・企画振興部と農林振興部につきましては、平成28年8月末に新潟市秋葉区へ、それから県税部と地域整備部は10月以降になりますが、新潟市東区へ移転いたします。また、下越教育事務所につきましては8月上旬に新発田市に移転する予定でございます。工事の進捗状況によって変更もございますが、ご了承いただきたいと思います。移転にあたりましては何かとご不便をおかけすることがあろうかと存じますが、何卒ご理解のほどよろしくお願いいたします。どうもありがとうございました。</p>
事務局 (堀内主査)	<p>少し順番が前後してしまい恐縮ですが、議事の(4)につきまして一点だけ補足をお願いいたします。先程ご承認いただいた内容で、国に書類を提出させていただきたいと思います。申請にあたりまして軽微な修正等が必要になった場合は、内容に変更が伴わない範囲でこちら事務局において修正させていただきたいと</p>

	<p>思います。その点のみご了承いただきますよう、よろしくお願いいたします。</p>
伊藤会長	<p>修正につきまして、軽微なものが出た場合には、ご了承、ご理解賜りたいということでございます。よろしいですか。</p> <p><b>異議なし</b></p> <p>ありがとうございました。それでは全ての議事が終了いたしました。皆様のご協力、感謝申し上げます次第でございます。マイクを戻します。</p>
司会 (林補佐)	<p>それでは、以上をもちまして平成28年度第1回目の会議を終了させていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
閉会 15:00	